

08

じゅんじょが ちがいます！

げつようび

【列王】
18章 1～5節

あなたさまには、イゼベルが主の預言者たちを殺したとき、私のしたことが知らされていないのですか。私は主の預言者百人を五十人ずつほら穴に隠し、パンと水で彼らを養いました。今、あなたは『行って、エリヤがここにいると、あなたの主人に言え』と言われます。彼は私を殺すでしょう。」するとエリヤは言った。「私が仕えている万軍の主は生きておられます。必ず私は、きょう、彼の前に出ましょう。」(13～15)

神様に祈りたくなるのは、おもに、どんな時ですか。おそらく、勉強をされていてつらくなったとき、また、くやしくて苦しいことがあった時でしょう。大人でも、自分の力では解決できない苦しみにかかったときに、教会に行ってお祈りをささげる人が多いです。教会で熱心にお祈りをしている姿を見ると、信仰生活をよくしているように見えるのですが、実はその順序はまちがっていることが多いのです。そのままでは神様がすでにくださった重要な答えと祝福をのがすことになります。

福音を持つレムナントがしなければならない最初のことは、霊的サミットになることです。霊的サミットになれば、神様がくださる力で勉強や働きができます。霊的サミットだったサムエルは親と離れて神殿で過ごしたので、まるで孤児のように育ったのですが、ミツバ運動の主役になりました。霊的サミットだったダビデも、羊飼いとて育ったのですが、王になって神殿を準備しました。アラム時代には、霊的サミットの祝福を味わったエリヤ、エリシャ、オバデヤがいました。そのとき、サタンが作った偶像時代が崩れ、アラム時代に神様が生きておられるということが世の中に宣傳伝えられたのでした。

今この時間、私の願いによる祈りの課題をおろしましょう。そして、神様に近づく霊的サミットタイムを先に持ちましょう。

きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。すべてのことより先に、神様からまず恵みと力を受けることができますように。霊的サミットとなる、まことの答えを体験しますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いてみよう

死の危機にさらされて逃げたエリヤが、えにしだの木のくさで自分のすべてをおろしたとき、神様はエリヤをホレブの山に導かれて、かすかな細い声で語られました。その神様の御声を聖書から見つけて、書きましょう。

【列王19:16のみことば】



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんじょ
準備する資料

09

かようび

レムナントに めいじられる こと！

レビ 8章7～11節

そして、モーセはアロンに長服を着せ、飾り帯を締めさせ、その上に青服をまかせ、さらにその上にエポデを着けさせた。すなわち、エポデを帯で締め、あや織りのエポデをその上に着けさせた。次に、モーセは彼に胸当てを着けさせ、その胸当てにウリムとトンミムを入れた。また、彼の頭にかぶり物をかぶらせ、さらにそのかぶり物の前面に、金の札すなわち聖別の記章をつけさせた。主がモーセに命じられたとおりである。ついで、モーセはそそぎの油を取って、幕屋とその中にあるすべてのものに油をそそいだ。こうしてこれらを聖別した。さらにそれを祭壇の上に七たび振りかけ、祭壇とその用具全部、また洗盤とその台に油をそそいで、これらを聖別した。

パパやママ、先生、自分のきょうだいや、なかよしの友だちにも絶対に渡したくない、大切なものはありますか。また、それを渡したくないと強く思うのは、どんなときでしたか。神様は私を福音を持つレムナントとして呼ばれました。レムナントは物を絶対に守ろうとするのではなく、本当にいのちかける価値のある旅程を見て、その旅程を歩んでいきます。それは、どんな旅程でしょうか。

イスラエルの民が全焼のいけにえをささげて、出エジプトとその解放を記憶したように、私たちも礼拝を通して、暗やみとのろいから解放されたことを覚えましょう。洗盤ですべての傷を洗ったように、ただみことばに集中してレムナントのすべての傷を洗いましょう。そして、アロンがエポデを着けたように、私は主のような祭司というアイデンティティを持ちましょう。私も私のまわりの人々を心に抱き祈りの胸当てを着けましょう。そして、神様のみことばを伝えましょう。神様の力によってその人々が生かされるのを見る証人となる祝福を味わうでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。教会である幕屋で命じられたことのように、神様が命じられた旅程に行くことができますように。礼拝を通してその旅程に行くように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

絵をかこう

エポデを着け胸当てを着けているアロンがいます。

エポデを着け胸当てを着けている私の姿を想像しながら赤い点をつないで、色をぬって絵を完成させ、みことばを伝えたい友だちのことを考えましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび しりょう
準備する資料

10

すいようび

レムナントが あじわう かいけんの てんまくの しゅくふく

レビ 8章 1～4節

ついで主はモーセに告げて仰せられた。「アロンと彼とともにいるその子らを連れ、装束、そそぎの油、罪のためのいけにえの雄牛、二頭の雄羊、種を入れないパンのかごを持って来、また全会衆を会見の天幕の入口の所に集めよ。」そこで、モーセは主が命じられたとおりにした。会衆は会見の天幕の入口の所に集まった。

神様が礼拝のために幕屋を作って、そこに集まって礼拝する会見の天幕の祝福を味わいなさいと言われました。その理由はなぜでしょうか。

1つ目は、神様は教会を通して、アロンとその子らが全焼のいけにえ（出エジプト）、和解のいけにえ（感謝）、穀物のささげ物（三つの祭り）をささげたように次世代が味わう福音文化を作ること願っておられるからです。2つ目に、神様は力を受けて教会の外の現場を生かす運動を願っておられます。それゆえ、動物を会見の天幕の外で焼きなさいと言われました。3つ目、イスラエルの民が会見の天幕に集まったように、神様は礼拝を通して神様のみことばを聞いて力を受ける、永遠に残る祝福を味わうことを願っておられます。

私は神様が大切にしてくださっているレムナントです。礼拝を通して与えられる力を受けて、すべてが契約を成し遂げる答えになるように導いてもらいましょう。



きょうのみことば



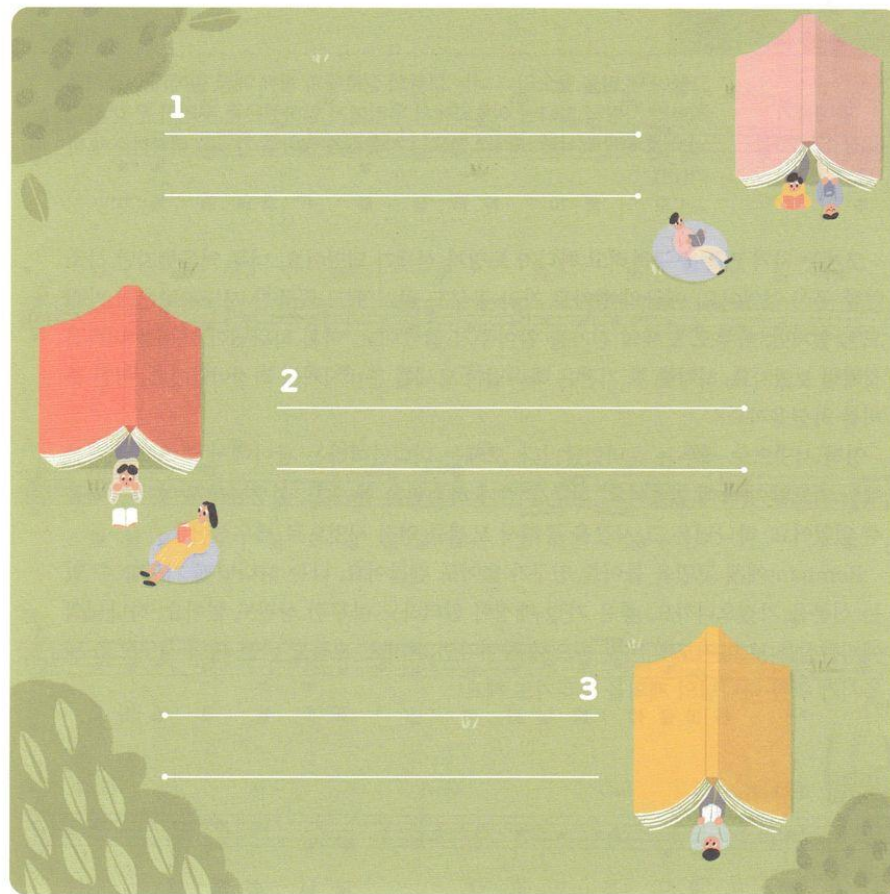
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神様が大切に思っておられるレムナントに与えられる会見の天幕の祝福を思い切り味わう今日になりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
よく
適用しよう

イスラエルの民は幕屋に集まって礼拝する会見の天幕の祝福を神様から与えられ、味わいました。私は教会で、どんな祝福を味わいたいですか。3つを考えて、書いて、福音文化を作ることができるように祈りましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

11

もくようび

モーセの ミッションと れいてきサミット

出エジプト 3章 17~20節

かれはあなたの声に聞き従おう。あなたはイスラエルの長老たちといっしょにエジプトの王のところに行き、彼に『ヘブル人の神、主が私たちとお会いになりました。どうか今、私たちに荒野へ三日の道のりの旅をさせ、私たちの神、主にいけにえをささげさせてください』と言え。(18)

モーセは自分の民族を救おうとして、逃亡者の烙印を押されました。。とてもくやしいことですが、それを訴える所はありませんでした。エジプトの王子として育ち、勉強をたくさんして、賢い指導者としての資質も備えたのですが、だれもモーセの真価を認めてくれませんでした。そのようなモーセは神様に見捨てられたようにも見えました。しかし、その期間は、神様がモーセを準備される過程でした。どんな準備をされたのでしょうか。

モーセを霊的サミットとして立てるための準備でした。モーセはミデヤンという荒野で、そして、ホレブの山で祈るしかありませんでした。友だちに会って訴えることも、先生に会って尋ねることもできませんでした。神様はその時間を通して、モーセを霊的サミットとして立てられました。

レムナントに悩みを聞いてくれる友だちがいなくても大丈夫です。神様に祈ることが自分の身を持っているからです。良い家庭の背景がなくても、なにも関係ありません。神様が備えられたことを見て、祈りの奥義の中に入れば良いのです。今日も私を霊的サミットとして立ててくださる神様の計画を味わいましょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。モーセのように、ただ祈りで神様からのミッションを成し遂げるレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



さんびしょう

わたしの告白

作詞/作曲：チョ・アンナ

♩=120 E^b /B^b E^b /B^b Fm /C Fm /C

シモン・ペテロこたえて言ーったーあ

B^b /F B^b7 /F Fm7 B^b7 E^b /B^b E^b /B^b

5
あなたは生けるかみのみこキリストーわたしたちもこえ

E^b7 /B^b A^b /E^b A^bm /E^b E^b/B^b F/A

10
そろえてこくはくーあなたは生けるかみ

Fm7 B^b7 E^b D^b/E^b A^b B^b/A^b

15
の御子キリストーかみさまわたし

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび しりょう
準備する資料

20 Gm7 Gm7/F C7/E Fm7 Bb7 Eb

の キ リ ス ト わ た し の こ こ ろ の ご し ゅ じ ん さ ま に

25 Bb Eb/G Ab Bb/Ab Gm7 Gm7/F C7/E

ー か み さ ま わ た し の キ リ ス ト 主 の

30 Fm7 F/A Bbsus4 Bb7 Eb

え い こ うー あ ら わ し て く だ さ いー アー メ ン。 シ モー



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

じゅうしょくしゃの ミッションと れいてきサミット

12

きんようび

それで、モーセはしゅうとのイテロのもとに帰り、彼に言った。「どうか私をエジプトにいる親類のもとに帰らせ、彼らがまだ生きながらえているかどうか見させてください。」イテロはモーセに「安心して行きなさい」と答えた。

しゅつ
出エジプト
4章 10~18節

神様は時代のために重職者を準備していただきました。時代を生かす重職者は、訓練によって生まれるのではなく、神様があらかじめ備えておられます。イテロは時代を生かすモーセのために神様が備えられた重職者でした。モーセは40年間、立派な宮殿で生活を送ることができる王子の身分でした。ところが、たった一日で、その身分はなくなり、逃亡者の烙印を押されるようになり、誰にも頼ることができなくなりました。そのとき、イテロはモーセが家庭を作れるように支えました。そして、モーセの妻の父として、モーセのすべての必要を満たしたのです。さらに40年がすぎて、モーセが神様に呼ばれました。モーセが家庭を離れなければならないとき、イテロは彼を閉じこめておかず、神様の働きを果たすことができるように後押ししました。

イテロはモーセの妻の父である一方で、モーセを助ける長老の役割を果たしたのです。レムナントである私も、私たちの牧師先生が神様の使命をよく果たすことができるように祈り始めましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私の教会の牧師先生が神様の働きを十分にはたすことができますように。イテロのように私が牧師先生のために祈る重職者として成長しますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

13

どうぶ

レムナントの ミッションと れいてきサミット

ヨシュア

1章 5～9節

わたしはあなたに命じたではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主が、あなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるからである。

神様は全能なる方です。ですから、神様の働きを成し遂げるために、たくさんの方が必要なわけではありません。むしろ、神様は神様の契約を握った何人かを神様の働きに用いられます。

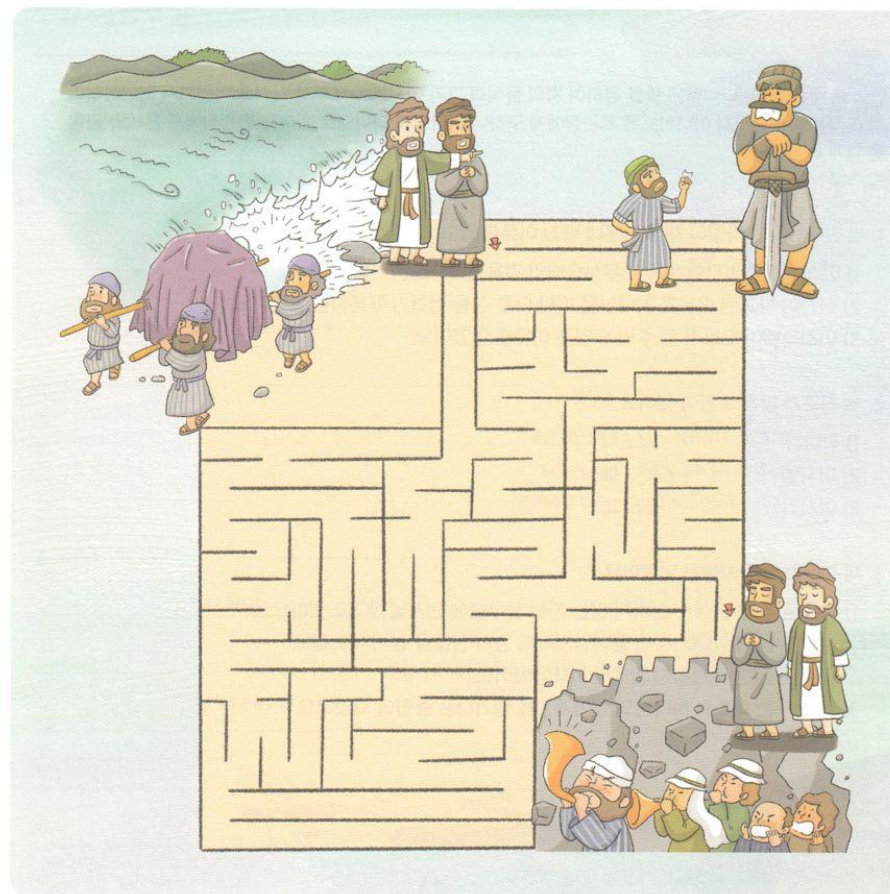
ヨシュアがある日突然、モーセの後継者になりました。ヨシュアは征服する地をあらかじめ受けたと信じました。(ヨシュア 1:3) 霊的サミットだったヨシュアは、神様から強力な力を受けました。神様はモーセとともにいられたように、ヨシュアとともにいるとおっしゃいました。ヨシュアは、この約束をもっともおおし祝福として信じて味わいました。(ヨシュア 1:5～7) カレブはイスラエルの民がアナク山地のために心配しているときに現れました。このとき、カレブは「神様が私とともにおられる」というメッセージを握り(ヨシュア 14:12) アナクの人々を追いつ追出すことができると信じたのでした。

神様は私をヨシュアとカレブと同じ霊的サミットとしてこの時代に呼ばれました。神様が今、私とともにおられることを記憶しながら、今日、神様が私を通して成し遂げられるミッションはなにかを見つけましょう。



めいろ

モーセとともにいられた主なる神様は、いつもヨシュアとカレブとともにおられました。ヨシュアとカレブの契約の旅程を考えながらめいろを通りましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。ヨシュアとカレブのように、神様がともにおられる霊的サミットの祝福を毎日、瞬間ごとに味わうことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料